

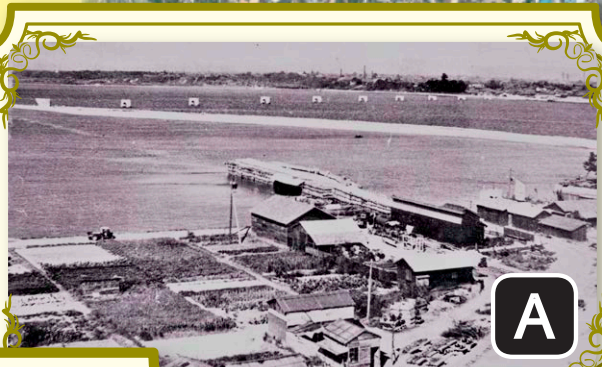
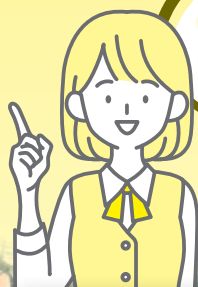
半田市の

今

昔

写真の場所は？

※答えは4ページ



HandaCity

はんだ市議会 だより

令和8年2月1日発行

お知らせ!!

- ◆市政への一般質問
- ◆議案の審議結果

- ★高校生との交流事業
- ★議会事業評価(市からの回答)



市議会だより

市政を問う

一般質問



市政への一般質問
(質問議員が執筆しています)

12月定例会では、7人の議員が12月9日(3人)と10日(4人)に一般質問を行いました。各議員の質問と市長を始めとする市当局の答弁(要旨)は次のとおりです。

※掲載順序は質問順です。

*質問、答弁の詳細は2月20日頃から半田図書館・亀崎図書館等に配置された会議録でご覧いただけます。また、市議会ホームページにも掲載します。

*議員ごとにYouTubeへ直接アクセスできるQRコードを掲載しています。



会議録へ

議案の審議結果

議案の審議結果
(高校生との交流事業)

事業評価(市からの回答)

問 令和8年度の亀崎小学校放課後ひろばの利用者は何人と想定していますか。

答 横川小学校放課後ひろばの1日の利用人数が25人であることから、その人数に未就学児親子の利用者を

亀崎小学校放課後ひろばの開設と亀崎児童センターの閉館後

答 小学校区内に児童センター等が無いところもありますが、そのことを理由に優先的に設置する考えはありません。

問 児童センターが設置されていない地域へ放課後ひろばを優先的に展開していくことが望ましいと考えますが見解を伺います。

放課後ひろばの今後の展開

伊藤正興
(チャレンジはんだ)



答 用途に応じて貸出を検討しますが、その場合は、維持管理費等を地域で負担いただく他、貸出期限も定めます。

問 旧亀崎児童センターの土地と建物について地域から活用したいと申し出があつた場合、検討の余地はありますか。

答 亀崎小学校放課後ひろばが子どもたちのより良い居場所となるよう、保護者や地域の皆様、委託する事業者にもご協力をいただきながら一緒に取組んでいきます。

問 今後、子どもたち、保護者、地域住民の期待にどのように応えていきますか。

答 タブレットで各種支援機関の相談窓口を紹介しています。また、各学校では、学級担任、専門支援員などに相談できる体制を整えています。

問 盗撮に関する児童生徒の相談窓口はありますか。

答 毎月の労働安全衛生管理上の職場巡視に併せ、適切に実施しています。

問 盗撮用小型カメラの設置について定期調査を実施していますか。

答 盗撮事案はありません。

問 過去5年間に発生した教職員による児童生徒への盗撮の有無を伺います。

児童生徒を盗撮から守るための取組み

麻生七海
(公明党)



問 教職員に対する盗撮防止に係る研修等がありますか。

答 本年7月に作成した「盗撮防止等ガイドライン」に沿った指導の徹底に取組むとともに、チェックリストによるセルフチェックを全教職員で実施しています。

問 盗撮防止対策として防犯カメラの設置を考えていますか。

答 防犯カメラは教室や廊下などに設置する必要があり、盗撮防止に一定の効果が期待できますが、校舎内を漏れなく撮影できない上、児童生徒や教職員が「常に誰かにみられている」と感じ、自由な会話や行動が制限されたり、高いストレスとなるおそれがあります。現時点ではマイナスイメージと捉えており、盗撮防止として防犯カメラを設置する考えはありません。



防犯カメラ作動中

有留麻田
(無所属)



育休退園の廃止を求
める

問 上の子(3歳未満)が保育園に通園中、下の子の育休を取得すると、産後8週間で退園する育休退園が継続する理由は何ですか。

答 年度の途中に待機児童が発生しており、保育の必要性がより高い家庭の入園を優先するためです。

問 育休退園廃止の妨げとなっている待機児童対策はどのようなのですか。

答 今後、開園する(仮称)成岩こども園、公立保育園の民営化で3歳未満児の受入れ拡大を計画しています。

問 公立保育園の空き部屋を利用し、3歳未満児の受入れ拡大をしてはどうですか。

答 部屋を別の用途で利用し

ていることと、保育士不足で拡大は困難な状況です。

問 他市町には、2歳児まで継続通園可能とする等の緩和策がありますが、半田市の見解を伺います。

答 待機児童の解消を優先して取組みます。今後、市としてどう取組むか保護者等の意見も聞きながら検討します。

通学路の更なる安全
確保を求める

問 通学路の危険箇所に対して、安全性を向上するため、対策はどのようなのですか。

答 毎年の通学路交通安全プログラムに加え、通学路で更なる改善が必要と判断した箇所は、関係機関や警察等と連携し対策を検討します。また、継続的に声が上がっている危険箇所に対しても継続して改善に取組んでいきます。



坂井美穂
(公明党)



手話言語の理解・普及と手話言語の使用
しやすい環境整備

問 手話施策推進法の基本理念や地方公共団体に求められている「学校における手話による教育等、職場における環境の整備、地域における生活環境の整備等」、手話文化の保存、継承及び発展、国民の理解と関心の増進等」の責務から、手話施策の現状と課題をどのように認識していますか。

答 本市では「意思疎通支援事業」として、手話通訳者の派遣や市役所窓口への配置、手話奉仕員の養成講座を実施していますが、専門人材の不足が課題となっています。

問 手話が喜怒哀楽を伝える大切な言語であることと、当事者が日々の生活、

災害時や緊急時の情報取得に不安を抱えていることを踏まえ、合理的配慮、防災、情報アクセシビリティなど各分野での手話施策を総合的に推進する体制をどのように整えていきますか。

答 「障がい者自立支援協議会」の中で関係機関からご意見をいただき、優先順位を確認しながら取組んでいきます。

問 半田市手話言語条例を制定する必要があると考えますが市の見解を伺います。

答 条例を制定する考えはありませんが、令和8年度中に策定を予定している「第5期障がい者保健福祉計画」に手話施策の計画を盛り込むことで実効性を担保し、着実に進めていきます。



山本裕介
(創造みらい半田)



半田市の経営戦略としての「見える力」と「使う力」

問 「見える力」(情報発信)について、子育て世帯を中心に、市の制度や支援情報が届きにくい状況があります。昨今はSNSで情報を得る傾向が強く、課題の発信では見つけにくい面がありますが、市は公式アカウントとの共同投稿などを基本とする発信力の向上についてどのように対応していきますか。

答 各課で行っているSNSの発信状況を改めて整理し、分かりやすく効果的な情報が市民に届くよう、庁内の連携を強化していきます。また、公式アカウントとの共同投稿などについても、効果や運用方法を検討しながら、発信力の向上につなげていきます。



問 「使う力」(AI)について、限られた職員数で行政サービスの質を維持していくには、生成AIの活用が重要です。市はAIをどの業務から優先して活用し、全庁的に生産性を高めていきますか。

答 文書作成など一部業務では生成AIの活用を試行しており、令和7年4月から11月までの間で、業務時間を2千282時間削減できました。今後は効果を検証しながら活用範囲を広げていきます。また、職員がAIを使いやすいよう、質問の仕方や指示文の事例を共有する仕組みづくりを進め、業務の効率化と市民サービスの向上につなげていきます。

市政への一般質問
(質問議員が執筆しています)

議案の審議結果

議案の審議結果
(高校生との交流事業)

事業評価(市からの回答)



中村和也
(つなぐ未来)



公契約条例の制定

問 公契約における現場の労働環境の実態を、どのように把握しているか伺います。

答 市独自の統計収集は困難であり、現時点で十分に把握できていません。

問 公契約に関わるすべての関係者を対象とした相談・通報窓口等の支援体制整備について、市の見解を伺います。

答 令和7年6月の総務省の働きかけを受け、総務部総務課に相談窓口を設置しました。今後、市報やホームページ等で周知を図ります。

問 条例制定の必要性を判断する検討会議の設置について、市の見解を伺います。

答 現時点でただちに設置する状況にはないと判断して

いますが、国の議論や制度改正の動向、相談窓口への相談状況等を踏まえ、必要に応じて設置を検討します。

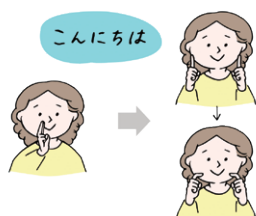
手話施策推進法に基づく今後の方針

問 市民の理解促進・普及啓発に向けた広報戦略はどのような方針ですか。

答 保育園などの障がい理解力リキニウムに手話を取り入れるほか、小中学生対象の「ふくし共育教育」でも手話に触れる機会を設けます。また、市報やホームページ、公式LINEなどで情報発信します。

問 手話施策に関する施策の策定と実施体制の整備は、いつまでに完了させますか。

答 令和8年度中に策定予定の「第5期半田市障がい者保健福祉計画」に、数値目標とともに位置づけます。



鈴木英華
(創造みらい半田)



小中学校における香りや色覚への配慮

問 これまで保護者からの香りへの配慮についての要望や意見にどのような対応をしましたか。

答 過去3年間に2件の要望がありました。いずれも給食当番のエプロンを各家庭で洗濯された際の柔軟剤等の残り香に関するもので、学校から予備のエプロンを貸し出して対応しました。

問 給食当番のエプロンについて共用のものと個人所有のものと選択できるようにすることは可能ですか。

答 衛生面や安全面の観点から一定の基準を設ける必要があります。慎重な取扱いが求められます。こうした点に十分留意しながら、保護者や児童生徒の意向にも配慮しつつ、今後、学校と協議

を進めていきます。

問 色覚障がいのある児童生徒の人数は把握していますか。

答 市全体としては小学校に6名、中学校に10名在籍しています。

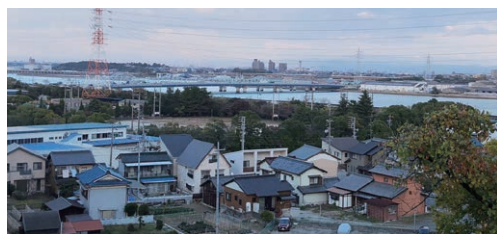
問 色覚への配慮としてどのような対応をしていますか。

答 黒板へは、色の明るさや鮮やかさで識別性を高めたユニバーサルデザインチョークを用いて板書をしています。また、すべての教職員には、どのような色覚の人にもわかりやすいデザインや配色をする「カラーユニバーサルデザイン」のガイドブックである愛知県の「視覚情報のユニバーサルデザインガイドブック」を使用し、さらなる理解促進に努めます。



◆表紙の回答と現在の風景

A：昭和30年頃の建設中の衣浦大橋



B：大正7年頃の亀崎第二尋常高等小学校(現乙川小学校)



C：昭和34年の半田大橋



D：昭和5年の成岩橋(渡り初め式)



審 議 結 果 令和7年第7回定例会(12月9日～12月19日)

■全会一致の案件

議 案 番号等	議 案 名	【 】内は議案の補足説明です。
75	令和7年度半田市乙川中部土地地区画整理事業特別会計補正予算第1号【人事異動等による職員給等を補正するものなど】	
76	令和7年度半田市JR半田駅前土地地区画整理事業特別会計補正予算第1号【人事異動等による職員給等を補正するものなど】	
77	令和7年度半田市介護保険事業特別会計補正予算第2号【人事異動等による職員給等を補正するものなど】	
78	令和7年度半田市後期高齢者医療事業特別会計補正予算第2号【保険料還付金の不足が見込まれるため増額するもの】	
79	令和7年度半田市水道事業会計補正予算第2号【人事異動等による職員給等を補正するものなど】	
80	令和7年度半田市下水道事業会計補正予算第2号【人事異動等による職員給等を補正するものなど】	
81	半田市公告式条例の一部改正について 【条例、規則等の公布手続きや公告、告示の公示手続きを、原則として電子的に執り行うこととするため条例を改正するもの】	
82	半田市地域共創センター条例の制定について 【「半田市地域共創センター」の設置に伴い、施設の設置及び管理に関する条例を制定するもの】	
84	半田市職員の勤務時間、休暇等に関する条例及び半田市職員の育児休業等に関する条例の一部改正について 【「地方公務員の育児休業等に関する法律」の改正により部分休業制度が拡充されたため条例を改正するもの】	
86	半田市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について 【専門性を有する非常勤特別職の人材確保に向け、報酬額を改定するため条例を改正するもの】	
88	半田市特別職員の給与の特例に関する条例の制定について 【超過勤務手当等の未払いに伴い、市長、副市長、教育長の給与を減額するため条例を制定するもの】	
89	半田市職員の給与に関する条例の一部改正について 【人事院勧告に準拠し、給料表等を改定するため条例を改正するもの】	
90	半田市パートタイム会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正について 【職員の給与改定に基づき、給与等を改定するため条例を改正するもの】	
91	半田市モーターボート競走事業こどもの未来応援基金条例の制定について 【モーターボート競走事業の収益金を子育てを支援する事業の財源に充てるための基金設置に関し条例を制定するもの】	
93	半田市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について	
94	半田市特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例の制定について	
95	半田市放課後児童クラブ施設設置条例の一部改正について 【亀崎小学校内に放課後児童クラブを設置するため条例を改正するもの】	
96	半田市火入れに関する条例の一部改正について 【火入れ中止の要件となる注意報の名称を乾燥注意報に改めるため条例を改正するもの】	
98	(仮称)成岩こども園建設工事(週休2日)請負契約の締結について	
99	損害賠償の額の決定について 【超過勤務手当等の未払いに係る損害賠償の額の決定について、地方自治法に基づき議会の議決を求めるもの】	
100	市道路線の廃止について【1路線を廃止するもの】	
101	市道路線の認定について【1路線を認定するもの】	
102	半田市固定資産評価審査委員会の委員の選任について 【令和8年3月31日をもって任期満了となるため、平野敬幸氏を引き続き選任するもの】	
103	令和7年度半田市一般会計補正予算第5号【物価高対応子育て応援手当を支給するもの】	
104	半田市事務分掌条例の一部改正について【令和8年度の機構改革に伴い条例を改正するもの】	
諮問1	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて 【令和8年3月31日をもって任期満了となるため、松本一代氏を新たに推薦するもの】	

■その他の案件

議 案 番号等	議 案 名
報告28	専決処分の報告について(除草作業中の車両損傷事故の和解及び損害賠償の額の決定)
報告29	専決処分の報告について(工事請負契約の変更)
監査報告3	定例監査(企画部、総務部、市民経済部、福祉部、子ども未来部、建設部)

賛否の分かれた案件等

議 案 番号等	議 案 名 【 】 内は議案の補足説明です。	創造みらい半田										公明党		つなぐ 未来	みづはんだ	無所属		議決 結果							
		石川	山本	芳金	鈴木	田中	澤田	鈴木	榊原	竹内	沢田	岩田	渡邊	山田	坂井	麻生	中村		小出	伊藤	國弘	有留	新美	加藤	
		英之	裕介	秀展	英華	嵩久	勝	幸彦	瑞輝	功治	清	玲子	昭司	清一	美穂	七海	和也		義一	正興	秀之	麻田	保博	美幸	
74	令和7年度半田市一般会計補正予算第4号 ※主なものは以下のとおり 総 務：【人事院勧告に準拠する職員の給与・期末勤勉手当の改定、公益通報に伴う超過勤務手当等を支給するものなど】 文教厚生：【新型コロナウイルスワクチン接種による健康被害に対する給付金を支給するものなど】 建設産業：【令和8年度から導入する「広域おでかけタクシー」事業の準備をするものなど】	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	可決	
85	半田市議会の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について 【人事院勧告に準拠し、議員報酬の期末手当を引き上げるため条例を改正するもの】	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	可決
87	半田市特別職員の給与に関する条例の一部改正について 【人事院勧告に準拠し、特別職員の期末手当を引き上げるため条例を改正するもの】	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	可決
92	半田市手数料条例及び半田市印鑑条例の一部改正について 【コンビニ交付の推進及びオンライン申請の拡充のため条例を改正するもの】	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	可決
97	知多都市計画石塚地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の制定について 【区域内の建築物について建築確認申請の審査事項とするため条例を制定するもの】	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	可決
議 員 提出4	半田市議会委員会条例の一部改正について【予算委員会と決算委員会を新たに設置すること等に伴い条例を改正するもの】	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	退	○	○	可決

※1:議長は裁決に加わらない。 2:○は賛成の議員、●は反対の議員 3:退は退席した議員



第74号は子ども・子育て支援金を市職員の共済保険に上乗せするためのシステム改修です。事実上の増税であり反対です。第85号と87号は、人事院勧告に準拠した市長と議員の期末手当の増額であり市民の理解は得られません。また、第92号は証明書等のコンビニ交付と開庁時間短縮を理由にマイナンバーカードを推進するものであり反対です。

有留麻由議員

議案第74号、85号、87号、92号に反対

反対討論

高校生との交流事業(HANDA若者会議)

令和8年1月14日(水)に半田農業高校、1月16日(金)に半田東高校で生徒との交流事業を行いました。詳細は、ホームページをご覧ください。



1. 半田農業高校 (30名)

参加者：生徒会、農業クラブ、その他の生徒

交流会のテーマ

『農業のチカラを活かすまちづくり』

働く・遊ぶ・プライベートの観点から考える



前回の半田工科高校との交流の様子

2. 半田東高校 (179名)

参加者：1年生の生徒

交流会のテーマ

学校は小さな社会

～わたしたちのルールを作ろう～

市政への一般質問
(質問議員が執筆しています)

議案の審議結果

議案の審議結果
(高校生との交流事業)

事業評価(市からの回答)



議会事業評価

～市からの回答～



各常任委員会(総務委員会、文教厚生委員会、建設産業委員会)が選定した3つの事業への評価・提言に対し、市長から以下の回答がありました。
事業評価に関する詳細な内容については、市議会ホームページをご覧ください。

総務委員会	評価の対象	災害対策事業(防災安全課) 【事業の目的】自主防災組織の活性化や家庭の備えを高めていくための支援を行う。
	事業評価	問題あり(拡充する必要あり)
	主な提言	市民の防災意識を高めるため、防災に直接関係のないイベント等に防災体験を取入れたり、防災資機材を積極的に活用したりすること。また、優良な取組みについては、全市で情報共有すること。
	市からの回答	防災キャンプや総合防災訓練では、幅広い年齢層の方に参加していただけるよう働く車の展示や協定先企業の体験ブースなどの企画を織り交ぜて実施しており、今後も気軽に参加しやすい訓練の実施に努めるとともに、備蓄してきた防災資機材については、一定のルールに基づき運用できるよう準備をしていきます。また、他自治区の好事例や直近の被災地での防災減災の取組みについては、毎年開催している「自主防災会連絡会」で情報の共有を図っていきます。
文教厚生委員会	評価の対象	音楽のあるまちづくり事業(生涯学習課) 【事業の目的】新たな音楽文化の創造や醸成を促し、ひとづくりやまちづくりにつなげていくとともに、心豊かな市民生活と活力ある地域社会の実現に寄与する。
	事業評価	問題あり(合理化の必要あり)
	主な提言	クラシック以外のジャンルを取入れ、子どもや市民が参加しやすい体験型イベントを拡充するなど、幅広いジャンルを扱う取組みを進めること。
	市からの回答	楽器体験などの体験型イベントを拡充するとともに、市内楽器店や音楽団体と連携し、多様なジャンルを扱う取組みを進め、市内の公共施設や商業施設など身近な場所でのイベントも増やし、市民が気軽に参加できる環境を整えていきます。
建設産業委員会	評価の対象	市営住宅維持管理事業(建築課) 【事業の目的】市営住宅の維持補修を継続して実施することで、入居者に安心安全な住環境を整備する。
	事業評価	概ね適正(現状を維持)
	主な提言	入居率の低い住宅の入居者数を増やすため、募集する住宅の住環境を整えたり、学生入居や事務所としての活用など、目的外使用にもチャレンジしたりすること。また、市営住宅長寿命化計画に基づいた住宅の廃止を進めるため、入居状況に基づく入居者の移転による棟集約を進め計画的な維持管理を行うこと。
	市からの回答	市民ニーズを把握するため、政策的に必要な住戸を除いた全空住戸の中から入居希望者が自由に部屋を選べる募集方法を来年度は12件行うとともに、目的外使用については、できることを精査しニーズがあれば検討していきます。また、老朽化した住宅については、棟集約などにより市営住宅長寿命化計画に基づき廃止できるよう進めていきます。

定例会のお知らせ

※会期中の日程はホームページでご確認ください。



議会本会議
の予定へ



■3月定例会(会期2月18日から3月31日まで)

代表質問と一般質問、新年度予算などの議案審査を行います。

**本会議は議場で傍聴することができます。
YouTubeでも配信しています。**



本会議映像
(YouTube)

表紙について

今年度の市議会だよりでは、半田市の懐かしい写真を「今昔」としてご紹介してまいりましたが、皆様お楽しみいただけたでしょうか。

今号は、若い世代の方にも興味を持っていただけるよう、少し遊び心を取入れクイズ形式にしてみました。皆様は、どこの写真かお分かりになりましたか？

昭和40年生まれの私にとっても、掲載した写真は懐かしいと言うより知らない景色ばかりで、「へえ」と言う言葉の連続でした。今回の写真は市立博物館に収蔵されている貴重な資料の中からお借りしたものです(改めて、昔の物をいろいろ所蔵している博物館は「おもしろい!」と思いました)。

衣浦大橋、半田大橋、成岩橋は、今では半田市の交通を支える大動脈です。これらの橋なくして、現在の半田市の発展はなかったと言っても過言ではありません。また、現在の乙川小学校には当時の石垣や門柱が今も残っているのではないのでしょうか？

橋や道路、建物は時代とともに新しくなりましたが、これからも半田市の礎を忘れることなく、この「大好きなまち半田」がさらに発展していくことを心から願うばかりです。(鈴木)

あ と が き

2月1日号は今年度を締めくくる『はんだ市議会だより』となります。最後までご一読いただき、誠にありがとうございます。

さて、半田市議会は、「開かれた議会」を目指しており、この市議会だよりについても多くの皆様に議会への関心を持っていただけるよう、読みやすく身近に感じられる広報誌となるよう努めております。

今年度は、市議会だよりを読むきっかけになればとの思いから、表紙のデザインを一新しました。「半田市内の今と昔」をテーマにした写真シリーズはいかがだったでしょうか？半田の歴史の移り変わりを感じ、思い出や魅力の再発見に繋がったのではないのでしょうか？この表紙が皆様の市議会だよりを読むきっかけになっていましたら幸いです。

また、昨年10月には、誌面における色覚への配慮を学ぶため、専門の講師を招いて「カラーユニバーサルデザイン」の勉強会を開催しました。今回の勉強会で学んだ配色や文字の大きさへの配慮などは、今後の編集に活かしてまいります。さらなる改善にご期待ください!(竹内)

議会広報誌編集委員会

委員長 有留 麻由
副委員長 鈴木 幸彦
委員 山本 裕介/澤田 勝
麻生 七海/竹内 功治

編集・発行 半田市議会

〒475-8666
半田市東洋町2-1
TEL 0569-84-0694
FAX 0569-24-7185
E-mail: giji@city.handa.lg.jp



半田市議会へ
QRコードはQRデン
ソーウェアの登
録商標です。